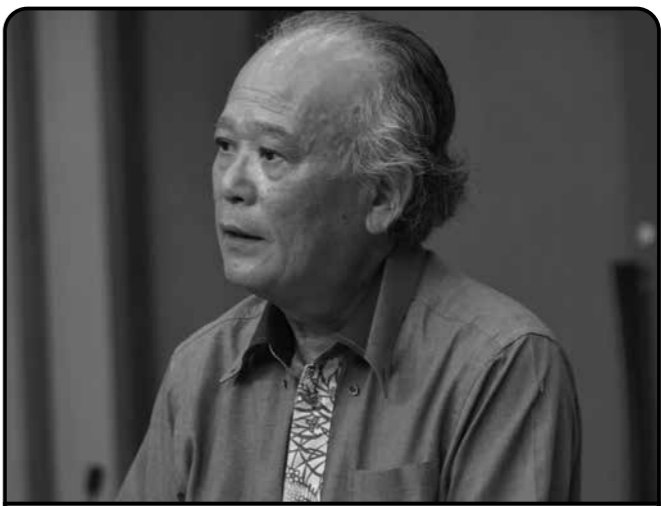


●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



きな まさもり
喜納 昌盛 議員



ついでなのか。

総務部長 (1) マスク、消毒液の購入等、一部は先行で進めてきた。国の補正予算が示され、事業計画協議が始まり5月25日の臨時議会に補正予算を提案し可決された。各事業を早期に進めていく。(2) 当該給付金はオンライン申請67件を除き1万4,793世帯に申請書を発送、現在まで1万4,900世帯が対象。5月20日から受付を開始し6月3日までの受理件数は1万1,718件。5月28日に1回目の給付開始、6月12日の5回目までに9,727世帯2万4,401名分24億4,010万円の給付を予定。(3) 当該交付金は臨時議会の一一般会計補正予算で、学童クラブ、認可外保育園利用料の日割補助、町内事業所への支援金、下水道基本料金半額免除等の全10事業分を提案し可決された。

福祉部長 (4) 社協では一時的な生活費の貸付、企業等の寄贈の弁当や歳末助け合いの商品券を支給。

福祉保険課長 (4) 生活資金の支援申し込みは5月25日現在223件。

建設部長 (4) 産業観光課へのセーフティネット貸付認定110件、持続化給付金等の問合せが一日約20件程。商工会では同貸付認定が116件、同給付金等の相談52件。町独自の中小企業等緊急支援金事業の実績は、6月1日現在で申請者44件、振込

し等で授業時数の確保や補習等で遅れを取り戻したい。

子どもや保護者の声も生かした行事の見直しを

問 行事の見直しを決めるのは学校だが、子どもたちの声や保護者、PTA、地域の意見も聞いて判断してほしい。萩生田文科大臣も「授業時数をただ詰めればいいのではない。学校行事も含めた学びをしっかり考えるべき」と述べている。

教育総務課主幹 教育委員会も考えは同じ。学校の学びは勉強だけではない。行事等も含めて子どもたちの成長のために学校がある。できるだけ実施の方向だが、今後の新型コロナウイルスの状況を見極めながら学校の判断に教育委員会としても力を貸して一緒に考えたい。

休校明けの子どもたちのメンタルケアは重要

問 長期休校で子どもたちの心理的ストレスも心配である。専門家によると意欲の低下による不登校増加の懸念もある。さらに児童虐待やネグレクトのリスクも高まるとの指摘もある。学校再開にあたり、心身に関するアンケートやメンタルヘルスの相談等、早期対応が必要ではないか。

教育部長 学校再開後に児童生徒の心身の健康チェックアンケートを実施。気になる児童生徒へは

手続きの完了41件で205万円となっている。

福祉部長 (5) 国、県、関係機関等との連携を図り、必要な対策を講じていく必要がある。

民生委員・児童委員について

問 現在の充足率はどうなっているか。

福祉部長 現在66名の定数に対し45名の委嘱で充足率は約68%。

町議補欠選挙について

問 実施の予定日、予算は。町長選挙に併せてできないか。

選挙管理委員会事務局長 告示日が6月30日、投票日は7月5日。予算は752万9千円。公職選挙法においては、定数の6分の1の欠員が生じたら50日以内の選挙が法の趣旨で、特別措置も判例も確認できない。



手洗い・うがいを
しっかりしましょう

教育相談の実施やスクールカウンセラーへのつなぎを確認している。児童虐待が心配なケースは、休校期間中から電話や家庭訪問等にて状況把握に努めている。

問 学校でのコロナいじめも心配される。指導や配慮はしているか。

教育総務課主幹 学校再開前から各学校で危機意識を持ち、「コロナいじめ対策を行っている」。

地域コーディネーターの廃止の予算編成はおかしい

問 学校と地域をつなぐ地域コーディネーターの果たす役割は大きい。本年度予算では謝礼金が約130万円減額。事実上の廃止である。これまでに努力してきた本人たちは落胆。学校長からも異議が出たと聞く。減額の経緯を伺う。

教育部長 当初予算では補助要件の変更により減額としたが、3月末の地域学校協働本部事業運営委員会でも当該活動謝礼金への組替えの強い要望があり、本6月議会で補正予算68万4千円を組替えし、活動謝礼金を確保する予定。

その他の質問

●タブレットを活用したペーパーレス議会について
●小波津川整備事業と水害・浸水被害防止について

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



いじゅ さとる
伊集 悟 議員



子どもたちの「学びの保障」にどう取り組むのか

問 2学期後半からの休校、新学期の始業遅れ、学習の遅れが懸念される受験生への影響を心配する声もある。休校期間中の学習の機会確保へどう取り組んだのか。今後、夏休みも短縮されるが子どもたちに無理をさせずに学習面の遅れをどう取り戻すのか。

教育部長 休校中は各学校で学校HPやメールでの教育サイトの紹介。学習プリント配布、回収。教科書配布と教科書の内容に沿った学習課題の提示。eライブラリーを活用した学習に取り組んだ。今後は夏休みの短縮や予備時数の活用、行事の見直

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。